

教養教育機構公開講座 日程表

～開講式～

11月14日 (月) 10:00～10:20

(参加自由)

ようこそ公開講座へ

—三重大大学の教養教育と公開講座—

挨拶： 教養教育機構長 井口 靖

11月14日 (月) 10:30～12:00

「異文化体験—はじめてのドイツ語—」

講師：井口 靖 (教養教育機構・教授)

11月14日 (月) 13:00～14:30

「STAP問題とは何だったのか—研究者
が不正をはたらく背景—」

講師：和田正法 (教養教育機構・講師)

11月15日 (火) 10:30～12:00

「オセアニアの島のくらしと教育」

講師：奥田久春 (教養教育機構・特任講師)

11月16日 (水) 10:30～12:00

「戦後日本外交と高崎達之助—日中関係の源流—」

講師：村上友章 (教養教育機構・特任准教授)

11月17日 (木) 13:00～14:30

「音と意味をつなげる力—言語音の学習と加齢—」

講師：木山幸子 (教養教育機構・特任講師)

11月18日 (金) 10:30～12:00

「カモノハシと学ぶ哺乳類の進化と自然保護」

講師：浅原正和 (教養教育機構・特任講師)

※14日のみ2講座開講します。何講座でも受講できます。

申込み・問い合わせ先

教養教育機構チーム総務担当

TEL：059-231-9820

FAX：059-231-9353

E-mail：kyoyosomu@ab.mie-u.ac.jp

教養教育機構ホームページ：

<http://www.arsmie-uac.jp/>

※電話・FAX・E-mail・機構ホームページ申込み
フォームのいずれかで、お申し込みください。

※申込み後のキャンセル・変更等がある場合は、
直接教養教育機構チームまでご連絡ください。

教養教育機構

公開講座

「教養教育ウィーク —Freshmenの気分—」



毎日1講座ずつ1週間にわたって、
バラエティとインテリジェンスに
富んだ講座を開講します。三重大
大学をFreshmenの気分で味わってみ
ませんか。

会場：三重大学教養教育校舎3号館

受講料：資料代500円

※1講座でも何講座でも同一料金
対象・定員：市民一般・先着50名

三重大学へのアクセス：

○JRまたは近鉄津駅下車

①津駅前バスのりば(津駅東口)「4番」から
三重交通バスで

「白塚駅前」、「太陽の街」、「三重病院」、
「棕本」、「豊里ネオポリス」、「三行」、
「サイエンスシティ」、「高田高校前」、
行きに乗車し、「三重大学前」で下車

②津駅からタクシーで約10分

○近鉄江戸橋駅下車 徒歩で約20分

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

主催：三重大学教養教育機構

11月14日(月) 10:30~12:00

「異文化体験—はじめてのドイツ語—」

講師：井口 靖 (教養教育機構・教授)

三重大学教養教育では、さまざまな言語をその地域の文化や社会、歴史などとともに学ぶ「異文化理解」という科目があります。ここではドイツ語を例に授業の1コマを体験していただきます。特にドイツ語が初めての方、昔習ったなあというような方を歓迎します。

11月15日(火) 10:30~12:00

「オセアニアの島の暮らしと教育」

講師：奥田久春 (教養教育機構・特任講師)

オセアニアにはオーストラリアやニュージーランドのほか、多数の小さな島国が存在し多様性に富んでいます。そうした島国の暮らしと学校をフィールドワーク感覚で読み解きながら、伝統とグローバル化の影響を考えていきます。

11月17日(木) 13:00~14:30

「音と意味をつなげる力—言語音の学習と加齢—」

講師：木山幸子 (教養教育機構・特任講師)

「滑舌」は、私たちが話し言葉を通してお互いに意思疎通を図るために欠かせない要素です。あまり滑舌が悪いと、相手に聞きとってもらいにくくなり、だんだん人と話すことがおっくうになってしまうかもしれません。本講座では、そのような言語音を発する仕組み、学習する力とその加齢変化について考えたいと思います。

11月14日(月) 13:00~14:30

「STAP問題とは何だったのか—研究者が不正をはたらく背景—」

講師：和田正法 (教養教育機構・講師)

2014年、ある若手の研究者がSTAP問題を起こしました。この問題は一体何だったのか、科学史の視点から解説します。「不正」を検討することで、研究者とはどういう人たちなのか、あらためて考えてみましょう。

11月16日(水) 10:30~12:00

「戦後日本外交と高橋達之助—日中関係の源流—」

講師：村上友章 (教養教育機構・特任准教授)

台頭する中国といかに向き合うか。そのヒントを探して、戦後日中関係の源流を訪ねます。主人公は、三重にも縁ある実業界出身の政治家・高橋達之助(1885-1964。時の総理・池田勇人から「天衣無縫で何をしてもかすか分からん」と恐れられた、その波乱万丈の生涯を辿ります。

11月18日(金) 10:30~12:00

カモノハシと学ぶ哺乳類の進化と自然保護

講師：浅原正和 (教養教育機構・特任講師)

オーストラリアにカモノハシという卵を産む哺乳類がいます。この授業では原始的な哺乳類であるカモノハシを例に挙げながら、哺乳類の特徴がどのように進化してきたかを学びます。また、カモノハシ保護活動の事例から自然保護の手法やありかたについて学びます。

受講申込書

ふりがな

受講者氏名 _____

連絡先 (電話番号又はメールアドレス) _____

希望する講座名にチェックしてください。

- 異文化体験—はじめてのドイツ語—
- STAP問題とは何だったのか—研究者が不正をはたらく背景—
- オセアニアの島の暮らしと教育
- 戦後日本外交と高橋達之助—日中関係の源流—
- 音と意味をつなげる力—言語音の学習と加齢—
- カモノハシと学ぶ哺乳類の進化と自然保護

※個人情報については、本公開講座でのみ使用するものとし、他の用途では使用いたしません。